

## ボランティアフェスティバル

～みて さわって 備えよう～  
 10月20日(日) 10:00~15:00  
 一宮スポーツ文化センター 1階~4階  
 まごころも、体験コーナーでさおり織とゲームをします。是非、いらしてください!

## 一宮市出前講座

- 一宮まごころ ふじた亭にて
- ① 『痛みの話と簡単な体操』  
10月24日(木) 10:30~12:00
  - ② 『訪問看護と施設について』  
11月21日(木) 10:30~11:30

## 移動ネットあいち

移動サービス 🚗🚗🚗

「わたしたちの地域の交通を考えよう」

11月16日(土) 10:00~12:00  
 一宮市市民活動支援センター会議室にて

一宮市全体の地図を広げて、様々な方の意見を集約します。  
 ご興味のある方、どなたでもご参加いただけます。

申し込み締め切り 11月7日(木)  
 問い合わせ先 市民活動支援センターへ

## マルシェ

せんい団地の渋ビルさんぽ  
 10月27日(日) 10:00~16:00  
 一宮繊維卸会館周辺(一宮市せんい3-2-18)

ササキセルム(株)さんの『ぬのんマルシェ』のワークショップ(NuNoNぬのんはなれ2階)に参加いたします。  
 サロンの手織りクラブの仲間による、地域交流。手織り体験でちょっと大きめコースターを

# まごころ

令和6年10月15日 NO.374 秋号

特定非営利活動法人 一宮まごころ  
 〒491-0041 一宮市文京1丁目4-6  
 TEL 0586-73-8707 Fax 0586-73-8870  
 E-mail [magokoro@plum.ocn.ne.jp](mailto:magokoro@plum.ocn.ne.jp)  
 ホームページ <https://npomagokoro.xsrv.jp/>

## 一宮まごころの会報が季刊に

今号より、会報「まごころ」は、3か月に1回の発行となります。まごころ発足以来、毎月発行しておりましたが、諸般の事情で季節ごとの発行といたしました。  
 中ページに「会報のあゆみ」として、「尾張地域福祉を考える会まごころサービス尾張センター」の開設当初より発行した「コスモス通信」第1号から掲載していきます。No.1は、平成5年7月1日発行でした。まごころの足跡として、社会、介護、福祉の変化を振り返ります。毎回、変化のある紙面レイアウトを予定します。どうぞお楽しみにしてください。  
 代表 武保 直美

## 福祉ジョブフェスタに出展しました

2024年9月28日(土) 10:00~15:00  
 iビルシビックテラスにて、障害福祉に関する 仕事紹介・就職説明会や啓発企画を行いました。  
 放課後デイレフトライトも出展いたしました。



## 地震研修報告

ケアマネジャー 武保 直美

令和6年8月8日 日向灘を震源とする地震の発生を受けて、政府が南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)を発表したことも記憶に新しく、いつ、どこで、どんな状況で地震が起こるか?とシュミレーションすると、途端に不安になった。その後の、8月末に発生した巨大台風10号。この夏の猛暑、局地的豪雨、それによる大災害、地球温暖化の影響による災害は今後も増加する。そんな折り、9月のケアマネ定例会で、ケースメソッドの研修会に参加。東日本大震災発生当時の実在の施設での実際の事例をもとに、問題解決能力や意思決定能力を養う学習法。場面、場面で何が問題か、その行動はどうだったか、自分ならどうするか?参加者が積極的に発言し、悩み、迷い、考えが揺れ動く。正解はない。おかれている立場により違う判断、行動、何を優先するべきか?介護、福祉職、事業所としての責務、各家庭での役割、地域住民の一員でもある。後回しにせず、考え、できることから備えることが重要である。

まごころきらり 五藤 信子

『能登半島地震の災害経験と在宅呼吸療法患者の対応を考える』・『能登半島地震の救助に参加して、地域の災害支援を考える』に参加した。  
 研修の中で被災すると人々はどこに向かうのか?考える機会を頂いた。総合病院、地域の避難所なのか・・・自宅に残る人もいるだろう。その人の置かれた状況によって変わっていくであろうと考える。  
 自分自身や職場の減災を意識していかななくてはならないと痛感した。日頃からの防災訓練、非常用品の使用や点検等を行っていききたい。



放課後デイでの避難訓練の様子

R6年度	会員数				市民事業						介護保険		障害福祉サービス										
					在宅支援		移動		ふれあい		訪問介護	居宅介護	移動支援	放課後等デイ				障害					
							回数	時間	回数	km				回数	延人数	回数	時間		回数	延人数	回数	延人数	回数
7月	49	22	18	89	41	56	47	185	22	54	61	461	74	15	70	117	18	29	26/27	248	232	98	21
8月	50	22	17	89	40	66	54	186	20	41	57	445	74	15	57	110	16	46	25	219	224	94	19
9月	50	21	17	88	35	53	54	297	21	59	57	426	72	15	61	108	14	26	25	224	213	85	19

## まごころ訪問介護事業所

〒491-0041 一宮市文京1丁目4-6  
 TEL 0586-73-8707 Fax 0586-73-8870

## 放課後デイサービスまごころレフト・ライト

〒491-0023 一宮市赤見4丁目2-4  
 TEL 0586-25-2667 Fax 0586-25-2668  
 E-mail [magokorojidou@plum.ocn.ne.jp](mailto:magokorojidou@plum.ocn.ne.jp)

## NPO法人まごころ介護相談所

〒491-0041 一宮市文京1丁目4-6  
 ケアマネ専用電話 TEL 0586-73-8709

## 重心型放課後デイサービスまごころきらり

〒491-0041 一宮市文京1丁目4-6  
 TEL 0586-73-8707 Fax 0586-73-8870  
 E-mail [magokoro-kirari@clock.ocn.ne.jp](mailto:magokoro-kirari@clock.ocn.ne.jp)

## 相談支援事業所まごころリンク

〒491-0041 一宮市文京1丁目5-35  
 TEL 0586-82-2883

# まごころレフト・ライト



## 夏休みの思い出と異世代交流

夏休み中は、名古屋港水族館、映画鑑賞会、はるひ美術館へ出掛け、沢山の夏の思い出作りができました。

保護者様より「遠くてなかなか会えない祖父母の代わりに高齢者と関わりを持つ場を作って欲しい」とのご意見を頂き、グループホームあんみつさんとの異世代交流会を開きました。昨今、世代の違う高齢者と交流することで受けるメリットがあると言われています。高齢者は、脳が活性化し、生きがいを感じ、知識をつたえる事で新しい役割が生まれます。子供たちは、人を労わる心が育ち、知識や礼節を学ぶ事ができます。これからも様々な経験の場を用意していきますね(^\_^) (清水)



# まごころきらり (重症心身障がい児・医療ケア児 放課後デイ)



きらり開所して6か月が過ぎました



開所から半年、多くの方々の支援をいただき感謝しております。遠足、七夕祭りの見学、プラネタリウム、映画鑑賞、音楽教室等々経験や体験を子どもたちと共有して私たちスタッフも心の栄養をもらっています。子供たちのきらりと輝く可能性を引き出せたらいいなあと考えていますが、子供たちの可能性は限りなくとても多いことを感じています。『これできた』『こんな風にしてみた』『こうしてみたら』等々、子供たちに多くの事を教えてもらっています(笑) 温かい、子供たちの元気な声が活発な『きらり』を目指していきます (五藤)

# ヘルパー便り

Aさんは脳梗塞を発症され、その後遺症で左半身が不自由になりました。その時から18年ほどのお付き合いになりますが、実は病気をされる前は、まごころでヘルパーをされていた先輩でもあります。

当時、まごころの看護師だったYさんやヘルパーに優しく時には厳しくケアで支援をしてもらわれたそうです。「色々とお世話になり、身体的にも精神的にも強くなったのよ」といつも話して下さいました。持ち前の負けん気と頑張り屋の性格もあり、沢山の困難を乗り越えられたのだと思いました。

普通ならあきらめてしまうような事も、自分なりに考え工夫したりして、出来る事は何でもされてきました。2人の娘さん家族のご協力とショートステイ、訪問介護を利用され、要介護5で寝たきりのご主人を4年程看られ、見送られました。本当に頭が下がる思いです。

これからも、ご自宅での生活が続けられるように支援していきたいと思います。(小関)

# リンク通信

相談支援事業所まごころリンクが開所してから半年が経ちました。不慣れな相談員としての仕事も板についてきた・・・よしっ!と思ったのも束の間、利用者様に迷惑をかけてしまうミスをしてしまい、落ち込んでしまうこともあったり・・・でも先日、利用者さんの異変に気付いた学校から連絡があり、学校・事業者・医療機関などと連携を取りながら、利用者さんの病気の兆候を見つけ、大きな障害が残る前に手術へとつなげることが出来たことがありました。普段はクールなお母さまから大変感謝のお言葉を頂いて、ああ、相談員をやっていてよかったなあと本当に思いました。相談員は日々の積み重ねであると感じています。利用者さんと一緒に人生を歩ませてもらうことの幸せを噛みしめながら、関係各所と連携をしつつ、時には関係機関の方と支援についてバトルをしながら今日も支援に勤しんでいる次第です。

さて、話は変わりますが、最近、資格取得に向けた勉強を開始しました。資格試験に落ちた時恥ずかしいので、何の資格かはまだお伝えしませんが・・・来年の夏に取得できたらいいなあ日々勉強したり、勉強しなかったりしています。皆さんは何か一生懸命に取り組まれていることはありますか? 中山にこっそり教えてくださいね(\*^-^\*) (中山)

# 一宮まごころスタッフの輪

重心型放課後デイサービスまごころきらりの山本真弓です。まごころの協力会員として初めて入会したのが、約20年前。当時は開所したばかりの児童デイサービス(現在の放課後デイサービス)のスタッフとして、約10年間子どもたちの療育に携わってきました。一度、まごころを出ましたが、今回ご縁があり2度目の入会となりました。またまた子どもたちの笑顔と頑張る姿に力をもらっています。

こんな私ですが、最近ハマっている趣味があります。ズバリ多肉植物です。主にエケベリアという種類を自宅で育てており、好きすぎて今では数百種という数になってしまいました。完全夜型生活だった私が、多肉を愛するために日の出とともに起きるようになったのは今でも信じられません。毎朝、多肉パトロールするのが日課になりました。多肉のお陰で健康生活です!この歳にして、良い趣味ができたなあ、毎日多肉をみてニンマリしています。

今回はヘルパーとして活躍されている、森美和子さんを紹介します。

(山本 真弓)



## 会報のあゆみ

No. 1 <平成5年7月1日>より

現在の会報『まごころ』の発行は、『まごころ』発足のあゆみと共にありました。

平成5年6月7日、『尾張地域福祉を考える会まごころサービス尾張センター』が開設。その約1年前から「地域で安心して暮らしたい」という願いを持って集まったメンバーがボランティア活動を中心にして任意団体を立ち上げました。

会報名『コスモス通信』として、平成5年7月1日に第1号が発行されました。

その月には、一宮市社会福祉協議会の後援でケアワーカー養成講座(初級)も主催していました。講座の中では、愛知県社会福祉協議会地域組織部長(丹羽氏)の講演や、当時まごころが活動の手本としていた、まごころサービス瀬戸センターより、「時間貯蓄・タイムストック制」についてのお話、他施設見学・介護技術など参加者49名と熱気に包まれていた内容を知ることができます。

ボランティア団体「コスモス」として特別養護老人ホーム・一宮寮へのボランティア活動も週1回行われていました。

【平成5年6月の協力会員31名、利用会員3名、賛助会員28名】